

菅官房長官、辺野古新基地に固執

—翁長知事は「肅々・・・は上から目線」と糾弾



辺野古・大浦湾のスライド・トークによる現地レポート

報告 山本英夫さん（フォトグラファー・名護市在住）

コメント 大内要三さん（元朝日新聞社出版本部）

「辺野古基地新設」の是非が大きな山場を迎えています。基地反対を掲げて当選した沖縄の翁長知事は、3月23日にサンゴ礁を破壊する防衛省の海底ボーリング調査について、作業を「停止」するよう求めましたが、安倍政権はこれを拒否。沖縄では「県民の声を無視した暴挙」との声が渦巻いています。

4月5日に行われた菅官房長官・沖縄担当相と翁長知事の会談では、菅官房長官があくまで「辺野古新基地」移設に固執。これに対し、翁長知事は「日本の0.6%しかない沖縄に米軍の74%の基地が集中している」異常さを指摘したうえで、沖縄の民意を背景に「沖縄から基地建設を望んだことはない。菅官房長官が肅々と工事を進めると言っているのは上から目線での言い方。沖縄の怒りは増幅される」と辺野古新基地建設断固反対の強い姿勢を示しました。

1昨年、東京から辺野古に移り、基地反対の戦いに全力で取り組んでいる山本英夫さんに写真で辺野古の戦いを報告していただく機会をもちました。大手紙ではほとんど報道されていない辺野古の戦いに学び、米軍基地反対の世論をつくりあげていこうではありませんか！

2015年5月9日（土）午後2時～5時

（練馬駅北口直結）

区民・産業プラザ（ココネリ）第1研修室

資料代：500円 先着70人

山本英夫さんのプロフィール：1951年7月東京生まれ。世田谷育ち。89年から沖縄に通い始め、13年10月名護市内に居を移す、辺野古テントを軸に撮影と表現活動を続けている。フォトグラファー（自然写真。報道写真）、ブログ「ヤマヒデの沖縄便り」を日々更新中。

主催 練馬・文化の会 賛同：憲法を生かす練馬の会、ねりま九条の会、練馬コイノニア集会
練馬平和委員会、平和に生きる権利の確立をめざす懇談会（平権懇）

連絡先：田場洋和 TEL(3991) 9165 携帯 090-3238-9348